

Q001 発達 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、発達の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 退職、配偶者との死別、身体機能低下など、大切なものを失う経験。
- B. 高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。
- C. 人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。
- D. 家族や地域との交流が乏しく、支援や情報につながりにくい状態。

答え・解説

正答：C. 人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。

超簡単な解説：発達は、人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。

Q002 発達 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 『年のせい』と決めつけず、睡眠・食欲・表情・発言を観察する。

答え・解説

正答：A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q003 老化 | 4択 | 標準

問題

介護実践で老化を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- B. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。
- C. 加齢だけで説明すると病気の発見が遅れるため。
- D. 発達は個人差が大きく、生涯続く変化だから。

答え・解説

正答：C. 加齢だけで説明すると病気の発見が遅れるため。

超簡単な解説：老化を重視する理由は、加齢だけで説明すると病気の発見が遅れるため。

Q004 感覚 | 4択 | 応用

問題

Dさんは加齢による視覚変化に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、加齢による視覚変化の観点から本人中心に対応する。

Q005 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 老化 | 4択 | 標準

問題

サルコペニアに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 老化 | 4択 | 基礎

問題

骨粗鬆症に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 老化 | 4択 | 応用

問題

起立性低血圧を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 こころ | 4択 | 基礎

問題

次のうち、老年期うつの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 高い音が聞き取りにくい、騒音下で会話が聞き取りにくいなどの変化。
- B. 高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。
- C. 人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。
- D. 立ち上がり時に血圧が下がり、めまいやふらつきが出る状態。

答え・解説

正答：B. 高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。

超簡単な解説：老年期うつは、高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。

Q010 こころ | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 悲しみを急いで励まそう、本人の語りを受け止める。
- C. 急な混乱は認知症と決めつけず、発症時期や体調変化を報告する。
- D. 老化による変化と病的変化を混同せず、急な変化は報告する。

答え・解説

正答：B. 悲しみを急いで励まそう、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まそう、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q011 社会 | 4択 | 標準

問題

介護実践で社会的孤立を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 孤立は健康悪化や虐待・消費者被害のリスクに関わるため。
- C. 転倒や要介護化のリスクに関わるため。
- D. 脱水は意識変化や転倒、便秘の原因になることがあるため。

答え・解説

正答：B. 孤立は健康悪化や虐待・消費者被害のリスクに関わるため。

超簡単な解説：社会的孤立を重視する理由は、孤立は健康悪化や虐待・消費者被害のリスクに関わるため。

Q012 健康 | 4択 | 応用

問題

Fさんは高齢者の薬物有害事象に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、高齢者の薬物有害事象の観点から本人中心に対応する。

Q013 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者のせん妄に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 社会 | 4択 | 基礎

問題

老年期の役割に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q016 発達 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、発達の説明としてより適切なものはどれか。

- A. 家族や地域との交流が乏しく、支援や情報につながりにくい状態。
- B. 家庭・地域・趣味などで本人が担ってきた役割や存在意義。
- C. 人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。
- D. 退職、配偶者との死別、身体機能低下など、大切なものを失う経験。

答え・解説

正答：C. 人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。

超簡単な解説：発達とは、人が生涯にわたり身体的・心理的・社会的に変化していく過程。

Q017 発達 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 年齢だけで決めつけず、その人の生活経験や役割を確認する。
- B. 施設生活でも本人ができる役割と一緒に探す。
- C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q018 老化 | 4択 | 標準

問題

介護実践で老化を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 役割の喪失は意欲低下につながるため。
- B. 加齢だけで説明すると病気の発見が遅れるため。
- C. 安全確認は医療職だけが行うため。
- D. 早期発見により医療や支援につなげられるため。

答え・解説

正答：B. 加齢だけで説明すると病気の発見が遅れるため。

超簡単な解説：老化を重視する理由は、加齢だけで説明すると病気の発見が遅れるため。

Q019 感覚 | 4択 | 応用

問題

Aさんは加齢による視覚変化に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、加齢による視覚変化の観点から本人中心に対応する。

Q020 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例20）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 老化 | 4択 | 標準

問題

サルコペニアに関する情報をチームで共有する場面で、より適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 老化 | 4択 | 基礎

問題

骨粗鬆症に関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 老化 | 4択 | 応用

問題

起立性低血圧を支援計画に反映する際の考え方として、より適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 こころ | 4択 | 基礎

問題

次のうち、老年期うつの説明としてより適切なものはどれか。

- A. 加齢に伴う心身機能の変化で、個人差を伴う自然な過程。
- B. 家族や地域との交流が乏しく、支援や情報につながりにくい状態。
- C. 急性に意識や注意、認知が変動する状態で、感染・脱水・薬剤などが関係することがある。
- D. 高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。

答え・解説

正答：D. 高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。

超簡単な解説：老年期うつは、高齢期にみられる抑うつ状態で、身体症状や意欲低下として現れることがある。

Q025 こころ | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。
- B. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- C. 照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。
- D. 体重減少、握力低下、歩行速度低下などを観察する。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q026 社会 | 4択 | 標準

問題

介護実践で社会的孤立を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. せん妄は原因対応が必要な場合があるため。
- B. 喪失への反応は個人差があり、尊重が必要だから。
- C. 役割の喪失は意欲低下につながるため。
- D. 孤立は健康悪化や虐待・消費者被害のリスクに関わるため。

答え・解説

正答：D. 孤立は健康悪化や虐待・消費者被害のリスクに関わるため。

超簡単な解説：社会的孤立を重視する理由は、孤立は健康悪化や虐待・消費者被害のリスクに関わるため。

Q027 健康 | 4択 | 応用

問題

Cさんは高齢者の薬物有害事象に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、高齢者の薬物有害事象の観点から本人中心に対応する。

Q028 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例28）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者のせん妄に関する情報をチームで共有する場で、より適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q030 社会 | 4択 | 基礎

問題

老年期の役割に関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q031 発達 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 老化による変化と病的変化を混同せず、急な変化は報告する。

答え・解説

正答：A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q032 感覚 | 4択 | 応用

問題

Dさんは加齢による視覚変化に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、加齢による視覚変化の観点から本人中心に対応する。

Q033 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例33）

- A. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q034 ころ | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。
- B. 老化による変化と病的変化を混同せず、急な変化は報告する。
- C. 体重減少、握力低下、歩行速度低下などを観察する。
- D. 年齢だけで決めつけず、その人の生活経験や役割を確認する。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q035 健康 | 4択 | 応用

問題

Fさんは高齢者の薬物有害事象に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、高齢者の薬物有害事象の観点から本人中心に対応する。

Q036 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例36）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q037 発達 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。
- B. 眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。
- C. 『年のせい』と決めつけず、睡眠・食欲・表情・発言を観察する。
- D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

答え・解説

正答：D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q038 感覚 | 4択 | 応用

問題

Aさんは加齢による視覚変化に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、加齢による視覚変化の観点から本人中心に対応する。

Q039 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例39）

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q040 こころ | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。
- B. 地域活動や相談機関につなぎ、本人の希望する交流方法を探す。
- C. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q041 健康 | 4択 | 応用

問題

Cさんは高齢者の薬物有害事象に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、高齢者の薬物有害事象の観点から本人中心に対応する。

Q042 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例42）

- A. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q043 発達 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- B. 体重減少、握力低下、歩行速度低下などを観察する。
- C. 老化による変化と病的変化を混同せず、急な変化は報告する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q044 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例44）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q045 こころ | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 急な混乱は認知症と決めつけず、発症時期や体調変化を報告する。
- C. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：C. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q046 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例46）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q047 発達 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 年齢だけで決めつけず、その人の生活経験や役割を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- D. 急な混乱は認知症と決めつけず、発症時期や体調変化を報告する。

答え・解説

正答：C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q048 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例48）

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q049 こころ | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q050 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例50）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q051 発達 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 臥位から急に立たせず、段階的に起き上がる。
- B. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- C. 照明や文字の大きさ、段差の見やすさを調整する。
- D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

答え・解説

正答：D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q052 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例52）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q053 こころ | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。
- B. 老化による変化と病的変化を混同せず、急な変化は報告する。
- C. 年齢だけで決めつけず、その人の生活経験や役割を確認する。
- D. 眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q054 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例54）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q055 発達 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法が続ける。
- C. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q056 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例56）

- A. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q057 こころ | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q058 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例58）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q059 発達 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 臥位から急に立たせず、段階的に起き上がる。
- B. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- C. 転倒予防と安全な移動環境の整備を行う。
- D. 地域活動や相談機関につなぎ、本人の希望する交流方法を探す。

答え・解説

正答：B. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q060 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例60）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q061 こころ | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- D. 転倒予防と安全な移動環境の整備を行う。

答え・解説

正答：C. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q062 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例62）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q063 発達 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q064 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例64）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q065 こころ | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 急な混乱は認知症と決めつけず、発症時期や体調変化を報告する。
- D. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

答え・解説

正答：D. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q066 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例66）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q067 発達 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 体重減少、握力低下、歩行速度低下などを観察する。
- B. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- C. 眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。
- D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

答え・解説

正答：D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q068 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例68）

- A. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q069 こころ | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。
- D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

答え・解説

正答：C. 悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まらず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q070 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例70）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q071 発達 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- B. 臥位から急に立たせず、段階的に起き上がる。
- C. 『年のせい』と決めつけず、睡眠・食欲・表情・発言を観察する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：A. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q072 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例72）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q073 こころ | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- B. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- C. 体重減少、握力低下、歩行速度低下などを観察する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q074 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例74）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q075 発達 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 施設生活でも本人ができる役割と一緒に探す。
- B. 眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。
- C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- D. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

答え・解説

正答：C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q076 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例76）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q077 こころ | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- B. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q078 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例78）

- A. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q079 発達 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 地域活動や相談機関につなぎ、本人の希望する交流方法を探す。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q080 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例80）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q081 こころ | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 急な混乱は認知症と決めつけず、発症時期や体調変化を報告する。
- B. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：B. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q082 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例82）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q083 発達 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 『年のせい』と決めつけず、睡眠・食欲・表情・発言を観察する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- C. 体重減少、握力低下、歩行速度低下などを観察する。
- D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

答え・解説

正答：D. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q084 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例84）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q085 こころ | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- B. 急な混乱は認知症と決めつけず、発症時期や体調変化を報告する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 年齢だけで決めつけず、その人の生活経験や役割を確認する。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q086 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例86）

- A. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q087 発達 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、ライフサイクルを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 転倒予防と安全な移動環境の整備を行う。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- D. 老化による変化と病的変化を混同せず、急な変化は報告する。

答え・解説

正答：C. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。

超簡単な解説：ライフサイクルでは、利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。この対応が適切である。

Q088 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例88）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q089 こころ | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、喪失体験を踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。
- B. 利用者の現在の課題を、過去の役割や家族関係も含めて理解する。
- C. 転倒予防と安全な移動環境の整備を行う。
- D. 眠気、ふらつき、食欲低下などの変化を記録し医療職へ報告する。

答え・解説

正答：A. 悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。

超簡単な解説：喪失体験では、悲しみを急いで励まさず、本人の語りを受け止める。この対応が適切である。

Q090 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例90）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q091 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例91）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q092 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例92）

- A. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q093 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例93）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q094 健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例94）

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q095 感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例95）

- A. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q096健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例96）

A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q097感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例97）

A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
B. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。
C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q098健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例98）

A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q099感覚 | 4択 | 標準

問題

加齢による聴覚変化の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例99）

A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
D. 低めの声で、正面から、ゆっくり話す。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：加齢による聴覚変化では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q100健康 | 4択 | 標準

問題

高齢者の脱水リスクの観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例100）

A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
C. 水分摂取量、尿量、口腔乾燥、発熱を観察する。
D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：高齢者の脱水リスクでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。